

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2017年9月4日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血 時刻	備考
6896 3	ペランパネル 3L245-0000-022-210	血漿 0.3	PH5 (G) ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	4~10	特	LC/MS/MS	(ng/mL)		フィコンパ &γ

特：特定薬剤治療管理料

● ペランパネル

新しい作用機序の抗てんかん薬「ペランパネル」の血中濃度を測定いたします。

ペランパネル（商品名：フィコンパ）は、2016年3月に製造販売承認を取得し、同年5月に薬価収載および発売された抗てんかん薬です。他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）および強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法において、効能・効果が認められています。

てんかん発作の発生ならびに伝播には、興奮性神経伝達物質であるグルタミン酸と、グルタミン酸受容体が重要な役割をもつと考えられています。中でも、AMPA (α -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazolepropionic acid) 受容体は、広く中枢神経細胞に分布し、非常に速い神経伝達を行うことが知られています。ペランパネルは、グルタミン酸によるAMPA受容体の活性化を選択的かつ非競合的に阻害することで、神経の興奮を抑制するという新しい作用機序を有しています。

本項目は、LC/MS/MSによりペランパネルの血中濃度を測定いたします。血中濃度のモニタリングは、服薬コンプライアンスの評価や薬物相互作用による影響の確認、投与量の調整を行う際の指標となります。

▼ 疾患との関連

てんかん

▼ 関連する主な検査項目

レベチラセタム
ラモトリギン
ラコサミド

▼ 検査要項

検査項目名	ペランパネル
項目コードNo.	6896 3
検体量	血漿 0.3 mL
容器	PH5 (G) ヘパリン入り → A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	4~10 日
検査方法	LC/MS/MS
基準値	(ng/mL)
検査実施料	特定薬剤治療管理料 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
備考	フィコンパ 株

● 参考文献

Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56~62, 2015. (検査方法参考文献)
花田 敬久 : 脳21 16 (3) : 322~328, 2013. (臨床的意義参考文献)